

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年4月21日)

- 1 平成26年度第1回大交流時代創造プロジェクトチーム会議  
(観光・交流部会)の開催結果について  
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 地方産業競争力協議会における地域戦略の策定について  
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 山陰海岸ジオパークの世界再認定審査について  
【観光戦略課】・・・4ページ
- 4 台湾ジャイアント旅行社によるサイクリングツアー  
実施について  
【観光戦略課】・・・5ページ
- 5 鳥取県スポーツ戦略会議の開催結果について  
【スポーツ課】・・・7ページ
- 6 境港公共マリーナのJOC(日本オリンピック委員会)  
セーリング競技強化センター認定について  
【スポーツ課】・・・9ページ
- 7 ソチパラリンピック代表谷口選手への鳥取県スポーツ顕彰授与について  
【スポーツ課】・・・10ページ
- 8 鳥取マラソン2014の開催結果について  
【スポーツ課】・・・11ページ
- 9 鳥取県スポーツ推進計画の策定について  
【スポーツ課】・・・12ページ
- 10 まんが王国とっとり第3回元老院議会の開催結果について  
【まんが王国官房】・・・13ページ
- 11 「漫画家 藤原芳秀 原画展」の開催について  
【まんが王国官房】・・・17ページ
- 12 青山剛昌キャラクター コナン×キッド×ヤイバ「神話の国の秘宝伝」について  
【まんが王国官房】・・・18ページ
- 13 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について  
【スポーツ課】・・・19ページ

文化観光スポーツ局

平成26年度第1回 大交流時代創造プロジェクトチーム会議  
(観光・交流部会)の開催結果について

平成26年4月21日  
観光戦略課

国内外から本県へのアクセス(陸・海・空の交通網基盤)が充実してきたこの機を捉えて、新規市場の開拓や本県の魅力・特性を活かした誘客、販路拡大を図るため、未来づくり推進本部に設けた「大交流時代創造プロジェクト」の、第1回目のチーム会議を開催し、現状を情報共有するとともに、庁内一体となって課題に取り組むことを確認した。

- 1 日 時 平成26年4月10日(木) 午後3時45分～4時45分
- 2 場 所 第4応接室(県庁本庁舎3階)
- 3 出席者 知事、副知事、統轄監、未来づくり推進局長、総務部長、地域振興部長、東部振興監、文化観光スポーツ局長、生活環境部長、商工労働部長、農林水産部長、県土整備部長、中部総合事務所長、西部総合事務所長、教育長、境港管理組合事務局長
- 4 検討課題
  - ・「国際リゾートとっとりプラン」の実践・推進
  - ・スカイマーク新規路線、ANA増便など航空便の充実を活かした誘客
  - ・クルーズ船の寄港地のおもてなし対応
  - ・高速・高規格道路の充実を活かした誘客
  - ・香港連続チャーター便の状況とおもてなし対応の準備
  - ・連休中の観光対応

(主な発言)

- ・鳥取空港の利用を圏域で進めるため、但馬地方との連携を一層強化すべき。さっそく首都圏で利用促進キャンペーンをしてはどうか。
- ・米子ソウル便の搭乗率向上のため、食・ゴルフ・トレッキング等を組み込んだ旅行商品について、人気の高いホームショッピングによる販売を強化するほか、アウトバウンドにおいても、地元企業の研修などでの利用を積極的に働き掛けてはどうか。
- ・香港連続チャーター便は、ルートなど早期に協議・決定し、おもてなし対応の準備を進めること。

5 今後の展開

「航空便の利用促進キャンペーン」、「米子ソウル便の搭乗率向上」、「香港連続チャーター便の成功に向けた取り組み」については、緊急に関係者会議・チームを招集し、具体的な取り組みを進めていくことを確認した。

# 地方産業競争力協議会における地域戦略の策定について

平成26年4月21日  
企画課  
商工政策課  
とっとり農業戦略課  
観光戦略課

このたび、中国及び近畿ブロックの地方産業競争力協議会において以下のとおり各地方の地域戦略を策定しました。

## 【中国地方産業競争力協議会】

### 1 中国地方産業競争力協議会

- ・委員(22名) : 中国5県知事、有識者・企業経営者等(17名)
- ・オブザーバー : 国の地方支分部局

### 2 地域戦略の概要

中国地方独自の創意を生かし、主体的に地域の産業競争力強化を図るため、4つの重点推進分野及びその成長を支える取組の推進に官民あげて取り組む。

#### ①地域戦略策定の基本的な考え方

- 中国地方の「強み」を活かした成長産業への挑戦
- 地域を元気にする基幹産業・伝統的産業の再興
- 成長産業の発展を支える中小企業の活力向上
- 産業発展の基盤となる人材育成とインフラ整備、地域の活力向上

#### ②重点推進分野

- 先端ものづくり産業（環境・エネルギー関連産業クラスターの形成、高付加価値型電子部品・デバイスとその素材、製造技術研究等）
- 農林水産業（6次産業化・農商工連携の推進、特産品の輸出力強化等）
- 観光関連産業（広域観光の推進、インバウンドの推進等）
- 基幹産業・伝統的産業（伝統的産業の磨き上げ・情報発信等）

#### ③重点推進分野の成長を支える取組

- 中小企業の活力向上（地場中小企業のネットワーク化による需要創出等）
- 多様性と活力に満ちた地域産業の創出（「人材」や「企業」などの“知”の呼び込み等）
- 中山間地域における産業の振興（産・学・官、工・農・商の人的ネットワークを活用した総合的支援等）
- アジアを中心とした海外展開支援（各企業の進出形態等に沿った支援策の提供等）
- 産業人材育成支援（働き手となる人材の育成・確保等）
- インフラ整備（山陰・山陽の地域内及び相互連携による物流基盤の強化等）

### 3 協議会の今後の進め方

- ・中国地方知事会の広域連携部会等を活用して、取組を進めるとともに、定期的にフォローアップを行う。
- ・フォローアップの状況は、適宜委員へ情報提供するほか協議会開催の場で報告する。
- ・地域戦略に基づき、国への要望を取りまとめ、要望活動を実施する予定。

## 【近畿ブロック地方産業競争力協議会】

### 1 近畿ブロック地方産業競争力協議会の構成

- ・委員(19名) : 関西広域連合構成団体の長(11)、奈良県・福井県知事、経済団体の長(4)、有識者(1)
- ・オブザーバー : 三重県、国の地方支分部局

## 2 地域戦略の概要

近畿の地域資源を活かして、近畿の経済社会を維持・発展させるために有効な5つの戦略分野を選定し、地域の産業競争力強化に資する重点強化策に、官民で連携して取り組む

### ◇戦略分野・重点強化策

- 成長産業の育成・強化や新市場の創出を行う分野【健康・医療等の先端技術】
  - ・革新的新技術の産業集積、拠点間の連携
  - ・新ビジネス・新市場の創出（環境・エネルギー産業など）
- ビジネスのグローバル展開に貢献する分野【特区・国際展開など】
  - ・国際ビジネス拠点の形成（特区制度の活用、外国人の生活環境整備、空港・港湾の機能強化）
  - ・海外展開の促進（水・医療ビジネスの国際展開、企業等の海外進出支援）
  - ・域内への投資・立地や他分野への転換の促進（外資誘致、民間投資の促進）
- 近畿の観光・文化資源を活かす分野【観光・文化産業など】
  - ・観光・文化資源のブランド構築・発信
- 地域の活力を支える産業の振興と雇用の拡大を図る分野【地場産業・中小企業・雇用・農林水産】
  - ・地域の商工業・サービス業の支援（中小企業支援、伝統産業やまんが・アニメ等のコンテンツ産業の振興）
  - ・農林水産業の競争力強化
  - ・雇用の維持・拡大（女性・高齢者・若者の就業・創業支援、子育て環境の整備）
- 近畿の産業競争力を支える基盤の強化に貢献する分野【交通インフラ・産業基盤・防災など】
  - ・交通インフラの整備（高規格道路のミッシングリンク解消、空港・港湾の整備）
  - ・科学技術・エネルギー等の産業基盤の整備（メタンハイドレート資源調査、SPRING-8-Ⅱ等国際的科学技術プロジェクト、電源の多様化の促進）
  - ・防災対策の推進（首都バックアップ機能強化、南海トラフ地震等の防災対策）

## 3 協議会の今後の進め方

- ・関西広域連合が中心となり取組を進めるとともに定期的にフォローアップを行う。

### 【大臣及び産業競争力会議民間委員との意見交換】

4月21日（月）に内閣官房主催による「地域の成長戦略に関する意見交換会」が開催され、地域ブロックの代表者による各地域の成長戦略のポイントの説明と意見交換が行われる。平井知事は中国ブロックの代表として出席。

### 【参考】地方産業競争力協議会の概要

#### 1 設置根拠

国の成長戦略である「日本再興戦略（平成25年6月14日）」及び「成長戦略の当面の実行方針（平成25年10月1日）」に地方産業競争力協議会の設置が位置づけられ、全国各地の生の声を日本再興戦略の実行に反映させていくため、地域ブロックごとに国と地方が一体となり、取り組んでいくこととされた。

#### 【日本再興戦略 —JAPAN is BACK—】

#### 6. 中小企業・小規模事業所の革新

##### ①地域のリソースの活用・結集・ブランド化

##### ○地方産業競争力協議会（仮称）の設置

- ・全国各地の地域に根ざした「生の声」を反映していくため、地域ブロックごとに、地域を支える企業の経営者等をメンバーとする「地方産業競争力協議会（仮称）」を設置する。同協議会においては、地域ごとの戦略産業を特定し、地域に眠る資源の掘り起こし、地域に必要な産業人材の育成に係る戦略等を定め、本戦略の地域における展開状況と併せて、定期的にフォローアップする。

#### 2 設置趣旨

地域独自の創意を生かし、主体的に地域の産業競争力強化等に関する検討を行うとともに、検討の内容を適時適切に国の政策決定プロセスに反映していくため、中国（近畿）地方産業競争力協議会を設置する。

## 山陰海岸ジオパークの世界再認定審査について

平成26年4月21日  
緑豊かな自然課  
観光戦略課

### 1 再認定審査について

#### (1) 審査員 2名

マウリツィオ・ブルランド (Maurizio Burlando) 氏 (イタリア) : 専門分野 地質学  
ジン・シャオチー (Jin Xiaochi) 氏 (中国) : 専門分野 古生物学、地理学

#### (2) 現地調査日程

視察先、日程について今後調整

○現在、想定している日程案

- ・ 1日目: 到着、夕食会 (鳥取市)                      ・ 2日目: 現地審査 (鳥取市、岩美町)
- ・ 3日目: 現地審査 (新温泉町、香美町、豊岡市)
- ・ 4日目: 現地審査 (京丹後市、豊岡市) 講評

#### (3) 再審査の主なポイント (想定)

- ・ 認定後に行った事業・活動が、世界ジオパークとして質の高いものであるか、量的に十分なものであるか。(保全、研究、教育普及、観光など、地域活性化の観点から)
- ・ 運営組織・体制の状況
- ・ 2010年の世界ジオパークネットワーク (GGN) 審査の指摘事項に対する対応
- ・ 鳥取市新規エリア (鳥取市西部地域) の審査

#### (4) 結果公表

9月開催の第6回ジオパーク国際ユネスコ会議 (カナダ) で発表予定

※再審査の結果が満足なものであればGGNの一員として認められるが、基準を満たしていないと判断された場合は勧告が行われ、2年以内に改善できないとメンバーとしての権利を剥奪される。

### 2 再審査に向けた本県の対応

#### (1) 山陰海岸ジオパーク世界再認定対策鳥取県連絡会の設置

ア 開催日 4月11日 (金)

イ 会長 西田鳥取大学名誉教授 (副会長 野川統轄監)

ウ 参集 民間団体 (学術、商工、観光)、鳥取市、岩美町、鳥取県関係部局等

エ 内容 再審査についての説明、意見交換

オ 主な意見

- ・ この再認定審査を契機に、更に取組をステップアップさせていく必要がある。
- ・ 新エリアには青谷上寺地遺跡や和紙、麒麟獅子舞など文化面でも豊富な地域であるほか、ジオパークの哲学に則った活動が行われている地域である。
- ・ 世界遺産と比較し、ジオパーク自体の認知度が不十分であり、それだけで観光誘客できないので、世界ジオパークの認知度を上げて行って欲しい。
- ・ 世界認定後、4年間で取組は進んだが、観光面でまだ大いに利活用すべきである。

#### (2) 今後の取組

審査員の情報等を確認しながら、山陰海岸ジオパーク推進協議会等と連携し対応を進める。

(主な取組)

- ・ 民俗文化のジオとの関わりの整理
- ・ ガイドのレベルアップ
- ・ 審査対応に向けたもてなし等のアイデア検討
- ・ 関係者による現地視察チェック、シュミレーションの実施

## 台湾ジャイアント旅行社によるサイクリングツアー実施について

平成26年4月21日

観光戦略課

西部総合事務所

4月9日から、台湾のジャイアント旅行社関係者等による鳥取県では初めてとなるサイクリングツアーが実施されました。今回は旅行社、台湾メディアなどの関係者にサイクリングのモデルコースを試走していただくとともに、鳥取県の自然や食なども体験していただきました。

今後、本格的なサイクリングツアーの実施に向けてジャイアント旅行社などと協議をしてまいります。

### 1 ツアー団の概要

参加人数 23名（ジャイアント旅行社、台湾メディア、自転車専門誌関係者など）

### 2 ツアー行程

(1) 滞在期間：4月9日（水）～4月12日（土）鳥取県内3泊

※台北－岡山定期便にてイン・アウト。

(2) 日程：サイクリングコースはトライアスリートの小原工氏がコースガイドとして同行

日程	内 容
4月9日（水） <来県日>	●台北桃園空港発（10:50）→岡山空港着（13:55） ○皆生温泉着（16:30） (泊：皆生ホテル)
4月10日（木）	○大山寺散策・雪遊び ○国立公園大山周遊コース（総距離51.2km） (泊：皆生ホテル)
4月11日（金）	○境港、出雲大社コース（総距離95km） ※コース：水木しげるロード→記念館→江島大橋（記念撮影）→出雲大社 ○イオン日吉津 ○鳥取県との意見交換会 (泊：東光園)
4月12日（土） <帰国日>	○お菓子の寿城、とっとり花回廊、大山ガーデンプレイス ○離県（12:00） ●岡山空港発（15:40）→台北桃園空港着（17:30）

#### 【ツアー参加者の声】

- ・空気がきれいで走りやすいコース
- ・ダウンヒルの距離が長く走りがいがある（爽快感を味わう距離が長い）
- ・大山の周囲を回るコースは景観の変化が多くて楽しい など

#### ○ジャイアントグループ

- ・ジャイアント・マニュファクチャリング（台湾）

1972年設立。年間550万台以上を生産する世界最大の自転車メーカー。

1989年には日本法人である株式会社ジャイアントを設立。

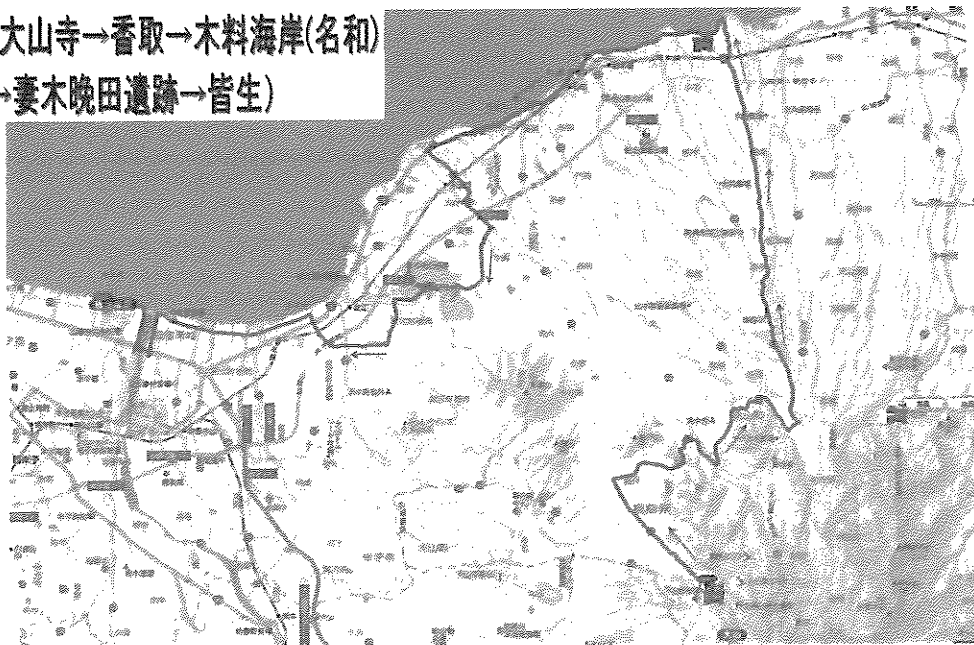
- ・ジャイアント旅行社（台湾）

ジャイアント・マニュファクチャリング系列の旅行会社で、サイクリングツアーを主に扱う。

# 台湾サイクリングツアー・コース概要

## H26.4.10(木) 大山ダウンヒルサイクリングコース (距離:約50km)

(大山寺→香取→木料海岸(名和)  
→妻木晩田遺跡→皆生)



## H26.4.11(金) 中海・宍道湖サイクリングコース (総距離:約95 km)

(皆生→境港→ベタ踏み坂→大根島→松江城→出雲大社)



# 鳥取県スポーツ戦略会議の開催結果について

平成26年4月21日  
ス ポ ー ツ 課

4月9日に鳥取県スポーツ戦略会議を開催しましたので、報告します。

## 1 開催趣旨

本県の行政とスポーツ関係団体のトップが、本県スポーツ振興施策について意見交換を行う。

2 日 時 4月9日(水) 午後1時～1時50分

3 場 所 鳥取県庁 議会棟3階 特別会議室

## 4 出席者

知事、教育長、県体育協会会長、県障がい者スポーツ協会会長(県障がい者スポーツ指導者協議会会長)、県社会福祉協議会会長、県スポーツ推進委員協議会会長、県体育協会専務理事、県障がい者スポーツ協会事務局長(スペシャルオリンピックス日本・鳥取事務局長)、県高等学校体育連盟会長、とっとりコンベンションビューロー理事長 ほか

## 5 主な意見

### <競技力向上>

- ジュニア選手は一貫指導により成果が出つつあるが、成年の競技力が低下。県外に出て活躍している選手が鳥取県に帰って来たくても受け皿がない。
- 特別支援学校の体育連盟を作って、スポーツに取り組む子供たちが発表する場を作ってほしい。

### <キャンプ地の誘致等>

- JOCセーリング競技強化センターに認定された境港公共マリーナにキャンプを誘致するためには、全国大会を開催するなどして、国内拠点施設としての実績を上げる必要がある。
- 競技団体などの持つ人脈を活かして、オリンピック等の合宿誘致に向けた働きかけをスタートさせることも1つの方法。
- 2020年パラリンピックに向け、トレーニングセンターや合宿の誘致に取り組んでもらいたい。
- ねんりんピックの本県への誘致に向けて検討を進めてもらいたい。

### <スポーツコンベンション>

- スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を進める上では、メディカルチェックの支援、鳥取の食を活用した弁当の提供などを通して、他地域との違いを明確にすることが大切。

## 6 スポーツ振興PT会議

鳥取県スポーツ戦略会議の終了後、スポーツ振興PT会議を開催し、戦略会議で出された意見も含め、各チームの所掌事務に関する現状や課題、今後の取組を進める上でのポイントなどについて、情報共有を行った。



## 鳥取県スポーツ戦略会議

### ○構成メンバー

知事、教育長、  
 県体育協会会長、県障がい者スポーツ協会会長（県障がい者スポーツ指導者協議会会長）、  
 県社会福祉協議会会長、県スポーツ推進委員協議会会長、  
 県体育協会専務理事、県障がい者スポーツ協会事務局長（スペシャルオリンピックス日本・鳥取事務局長）  
 県高等学校体育連盟会長、県中学校体育連盟会長、とっとりコンベンションビューロー理事長

（副知事、統轄監、福祉保健部長、文化観光スポーツ局長、スポーツ振興監、観光戦略課長、障がい福祉課長、  
 長寿社会課長）

## スポーツ振興PT

### スポーツ振興連絡会（リーダー：副知事）

○所掌業務 …… 所掌業務を全般的に統括・進捗管理

○構成メンバー

副知事、統轄監、スポーツ振興監、教育委員会次長、観光戦略課長  
 障がい福祉課長、長寿社会課長  
 県体協専務理事、障がい者スポーツ協会事務局長

### 競技力向上チーム

（事務局：スポーツ課）

○所掌業務

■国体・身障者スポーツ大会等選  
 手強化  
 ■将来を期待されるアスリートの  
 養成

■指導体制の充実、強化  
 ■学校体育（部活動）との連携 等

○構成メンバー

スポーツ振興監、障がい福祉課長、  
 体育保健課長、県体協専務理事、  
 障がい者スポーツ協会事務局長 他

### 五輪・WMGチーム

（事務局：スポーツ課）

○所掌業務

■競技会場、トレーニング拠点の招致  
 ■キャンプ地誘致  
 ■海外観光客受入れ（情報発信・環  
 境整備） 等

○構成メンバー

スポーツ振興監、観光戦略課長、交  
 流推進課長、障がい福祉課長、体育  
 保健課長、  
 県体協専務理事、障がい者スポーツ  
 協会事務局長 他

### スポーツを軸とした地域活性化チーム

（事務局：観光戦略課）

○所掌業務

■スポーツイベント誘客（ガイドナールを含む）  
 ■スポーツツーリズム・スポーツリゾート推進  
 ■海外観光客受入（情報発信・環境整備）  
 ■誰もが取り組みやすいスポーツ活動機会  
 の充実

■スポーツ交流・団体活動支援 等

○構成メンバー

スポーツ振興監、観光戦略課長、交流推進  
 課長、障がい福祉課長、長寿社会課長  
 県体協専務理事 他

# 境港公共マリーナのJOC(日本オリンピック委員会)セーリング競技 強化センター認定について

平成26年4月21日  
ス ポ ー ツ 課

平成25年10月に日本セーリング連盟が公募した日本オリンピック委員会(以下「JOC」という。)の競技別強化センターの候補地について、鳥取県セーリング連盟が境港公共マリーナを申請していたところ、平成26年3月19日付けでJOCセーリング競技強化センターに認定されましたので報告します。

## 1 経緯等

- 平成25年 9月 7日 東京オリンピック・パラリンピック開催決定  
※直後から、鳥取県として海外チームの合宿地や選手の強化拠点等の誘致  
を指し活動
- 平成25年10月 7日 JOCセーリング競技強化センターの追加候補地を公募(日本セーリング連盟)
- 平成25年11月15日 境港公共マリーナ(境港管理組合所管)を申請(鳥取県セーリング連盟)  
※鳥取県、境港管理組合、県体育協会等と事前協議の上
- 平成25年12月 4日 平井知事が日本セーリング連盟会長へ認定を要望
- 平成26年 3月19日 JOCよりセーリング競技強化センターとしての認定  
〈認定期間〉 … リオデジャネイロ五輪終了の2017年3月末まで

【境港公共マリーナ認定以前のセーリング競技の育成・強化の拠点】

- 文部科学省認定の競技別強化拠点 和歌山セーリングセンター
- JOC認定の競技別強化センター 唐津ヨットハーバー、葉山新港

## 2 強化センター認定により期待される効果

全国レベルの大会開催や日本代表を目指す選手の合宿などが行われ、本県スポーツ振興や地域活性化にも効果が期待される。

## 3 境港公共マリーナの環境整備

鳥取県及び境港管理組合としては、境港公共マリーナがJOCセーリング競技強化センターとして、全国レベルの大会開催や日本代表を目指す選手の合宿などに対応するための機能や利便性の向上を図るために必要な環境整備について、平成26年度当初予算で下記のとおり予算措置済みです。

予算額 55,951千円(155,951千円)

〈事業内容〉

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| ・チャーター艇の整備      | 29,160千円    |
| ・コーチングスタッフの確保   | 4,666千円     |
| ・救助艇等の配備、エンジン交換 | 21,006千円    |
| ・トレーニング設備の整備    | 1,119千円     |
| ・艇庫の整備(境港管理組合)  | (100,000千円) |

## ソチパラリンピック代表谷口選手への鳥取県スポーツ顕彰授与について

平成26年4月21日  
ス ポ ー ツ 課

ソチ2014パラリンピック冬季競技大会に出場した鳥取市出身の谷口彰（たにぐちあきら）選手は、全4種目に出場したところ、アルペンスキー男子スーパーコンビ（座位）で7位入賞となりました。

大会における結果報告等のために知事を表敬訪問され、訪問に合わせて、優秀な成績を収められた谷口選手に対し、障がい者スポーツ選手で初となる鳥取県スポーツ顕彰を授与しました。

### 1 顕彰授与日

日 時 平成26年4月4日（金） 午後3時から3時15分まで  
場 所 知事公邸 第1応接室

### 2 受章者

谷口 彰 （たにぐち あきら） 40才  
障がい：両下肢機能障害 1種1級  
出 身：鳥取市（鳥取城北高等学校出身） 現在は長野県在住  
所 属：株式会社 相模組

### 3 大会成績等

- 谷口選手は全4種目に出場し、「スーパーコンビ」で見事7位入賞を果たした。
- 今回の7位入賞はトリノ、バンクーバーを通してパラリンピックでの最高成績となった。

※「スーパーコンビ」とは、第1走で「回転」、第2走で「スーパー大回転」を行い、合計タイムを競うもの。

※谷口選手のこれまでの成績

- ・2006年トリノパラリンピック  
スーパー大回転15位、大回転19位、回転11位、滑降14位
- ・2010年バンクーバーパラリンピック  
スーパー大回転18位、大回転11位、回転18位

### 4 鳥取県スポーツ顕彰について

- ・鳥取県スポーツ顕彰は、スポーツの国際大会において優秀な成績を収めた選手の栄誉を称えるとともに、県民の競技スポーツに対する意識の高揚と競技力の向上を図るものであり、本県競技スポーツ界で最も権威のある賞であり、平成4年に制定された。
- ・平成26年度からスポーツの所管が知事部局に移るタイミングで、スポーツ顕彰の要綱改正を行い、パラリンピック・デフリンピック等障がい者スポーツにおける成績優秀者も加えることとした。（従来は、社会福祉功労者として表彰していた。）

※過去の主な受章者（抜粋）

氏名	大会名	競技(種目)	成績	受章年月日
山下佐知子	バルセロナオリンピック	陸上(マラソン)	4位	H4.9.4
西本 宣充	バルセロナオリンピック	氷上(トリフィング)	8位	H4.9.4
大部 由美	アテネオリンピック	女子サッカー	7位	H17.1.7
宇佐美里香	第21回世界空手道選手権大会	空手道	優勝	H25.2.4

# 鳥取マラソン 2014 の開催結果について

平成26年4月21日  
ス ポ ー ツ 課

平成26年3月16日(日)に開催された鳥取マラソン2014の結果について、以下のとおり報告します。

## 1 出走者数等

- |             |        |                         |
|-------------|--------|-------------------------|
| (1) 参加エントリー | 3,015人 | ※過去最多、県外者約6割、台湾からの参加者3人 |
| (2) 出走者数    | 2,622人 | ※過去最多                   |
| (3) 完走者数    | 2,403人 |                         |
| (4) 完走率     | 91.6%  |                         |
| (5) ボランティア  | 約500人  | ※過去最多                   |
| (6) スタッフ    | 約500人  | ※鳥取陸協、高校生補助員、県・市職員など    |

## 2 ランナーの感想

- (1) ボランティアの方を含めたスタッフの方や沿道の方の大声援に勇気をもらった。
- (2) 鳥取砂丘をはじめ、市街地や田園風景などバラエティ豊かなコースで走っていて楽しかった。
- (3) シャトルバスの運行、手荷物の預けや受け取りにほとんど時間を要さず快適だった。
- (4) 全体的に看板・サイン類、トイレが不足していたように感じた。
- (5) スタート地点にテントを増やすなど、次回大会では寒さ・雨対策をもっと考えてほしい。
- (6) 最初の急な坂に始まり、市街地での緩やかな坂などアップダウンのある厳しいコースだった。
- (7) 前日も当日も街中のほとんどの飲食店が閉まっていたため、お祭り感が伝わってこなかった。

## 3 県内外への情報発信等

全国紙や全国紙のホームページなどに掲載され、またツイッターやフェイスブックなどでも紹介され県内外に「鳥取マラソン」をPRすることができた。

## 4 その他

4月8日(火)に第3回鳥取マラソン実行委員会が開催され、次回大会を平成27年3月15日(日)に開催することを決定し、併せてトイレの不足、コースの見直しや寒さ・雨天対策などの課題を次回大会に向けて解決していくことが確認された。

# 鳥取県スポーツ推進計画の策定について

平成26年4月21日  
ス ポ ー ツ 課

本年3月、スポーツ基本法の目指す方向性や国のスポーツ基本計画を踏まえ、鳥取県スポーツ推進計画として、本県の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定した。

## 1 策定までの経過

- ・平成23年6月 スポーツ基本法制定
- ・平成24年3月 スポーツ基本計画策定
- ・平成24年8月 鳥取県教育委員会が鳥取県スポーツ審議会に鳥取県スポーツ振興計画の見直しについて諮問
- ・平成25年11月 鳥取県スポーツ審議会答申
- ・平成26年3月 鳥取県スポーツ推進計画策定

## 2 計画の概要

### 【計画策定のポイント】

本県スポーツの一層の推進を図るため、現代のスポーツを取り巻く諸状況を照らし制定されたスポーツ基本法及び同法に基づくスポーツ基本計画の趣旨を踏まえ、平成21年3月に策定された「鳥取県スポーツ振興計画」を全面改定し、新たに「鳥取県スポーツ推進計画」を策定

## <鳥取県スポーツ推進計画>

### 【目指す姿】

すべての県民が豊かなスポーツ文化を享受できる鳥取県

様々な年代の人々が年齢や性別、障がい等を問わず、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備し、心豊かな生活を営むことができる社会

### 【基本方針】

- 目指す姿を実現するため、以下の5つの基本方針を設定
  - ① ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進
  - ② 学校体育と運動機会の充実による子どもの運動・スポーツの基礎づくり
  - ③ 地域におけるスポーツ人材の育成とスポーツ環境の充実
  - ④ 競技力の向上に向けた人材養成やスポーツ環境の総合的な整備
  - ⑤ スポーツ推進に向けた各組織の連携と一体的・総合的な取組の充実

### 【計画の期間】

- 平成26年（2014年）度～平成35年（2023年）度までの10カ年計画

## まんが王国とっとり第3回元老院議会の開催結果について

平成26年4月21日  
まんが王国官房

建国2年目を迎えた「まんが王国とっとり」の国づくりを進めていくに当たって、知識と経験を持つ有識者との意見交換を行うため、次のとおり第3回元老院議会を開催しました。

1 日 時 平成26年3月25日（火）

2 場 所 とりぎん文化会館 第3会議室

3 参集範囲 知事、元老院顧問・議員等

4 経 緯

○平成25年5月21日（火）、県庁にて第1回元老院議会を開催し、国づくりの基本的な方向性を確認し、「まんが王国とっとり国づくり構想（仮称）」を策定することとした。

○8月26日（月）に倉吉市内、同28日（水）に東京都内にて、まんが王国とっとり「車座まんが談義」を開催し、第1回議会の開催結果を踏まえて議論した。

○11月7日（木）、わらべ館にて第2回元老院議会を開催し、「まんが王国とっとりチャレンジプラン（仮称）の骨子（案）」に基づいて意見交換を行った。

5 概 要

○建国3年目を迎えるに当たって、まんが王国ととりの発展に向けた課題や方策を明らかにするために策定する「まんが王国とっとり国づくりチャレンジプラン（案）」について、意見交換を行った。

（主な意見）

- ・まんがに取り組んでいる人とそうでない人との温度差がある。県民全体では、まんがに取り組む必要があるのか、と懐疑的な見方がある。まんがが地元に基づいて理解されるように取り組むべき。
- ・県民の理解が大前提で、そこから先に観光誘客などの取組がある。まんがの採用による売上の増加、まんがを目的とした観光による経済効果、まんがの活用による教育効果などを示して県民の理解を得ていくべき。
- ・プロをめざす人たち向けではなく、一般のかたをぐっと惹きつけるようなPRをするべき。
- ・県民の理解があれば、まんがを目的とした観光客のおもてなしが向上するのではないか。
- ・説明には、まんが王国憲章など、めざす方向性が分かりやすく宣言されているスローガンが必要ではないか。
- ・実益のあがる取組と併行させて、活動を支える本当にまんがの好きな人づくりなど、すぐに成果のでない取組も進めていけばよいのではないか。

○意見交換の結果を踏まえて修正して最終案を確定させ、パブリックコメントを経て公表することとした。

(参考1)

まんが王国とっとり元老院議会メンバー一覧

区分	氏名等	備考（第3回議会出席者）
顧問	ちば てつや	
	里中 満智子	
	赤井 孝美	出席
議員	河原 正彦（鳥取環境大学副理事長）	
	住川 英明（鳥取大学地域学部教授）	出席
	白井 利光（明治大学調査役）	
	小坂 俊夫（京都国際マンガミュージアム）	出席
	原口 尚子（株）水木プロダクション代表取締役）	出席
	寺西 竜也（コンテンツ産業関係者）	出席
	木谷 清人（(公財)鳥取市文化財団理事長）	
	岸田 寛昭（NPO未来理事長）	
	久保田 孝（株）DARAZ代表取締役）	出席
	大田 斉之（鳥取市経済観光部長）	出席（代理）
	大江 淳史（米子市経済部長）	
	片山 暢博（倉吉市企画振興部長）	出席
	伊達 憲太郎（境港市産業部長）	出席（代理）
	松本 昭夫（北栄町長）	出席
細羽 正（鳥取県文化観光局長）	出席	
事務局	前田 修（鳥取県文化観光局まんが王国官房長）	出席

（平成26年3月25日現在）

(参考2)

## 「まんが王国とっとり国づくりチャレンジプラン」(案)の概要

### 1 目的

建国3年目を迎えるに当たって、まんが王国ととりの発展に向けた課題や方策を明らかにする。

### 2 国づくりの基本的な考え方

- 国際まんが博等の意義を確認し、その成果を引き継いでいく。
- 将来(10~20年後)の姿をイメージしながら、まんがの持つパワーを活用する。

#### <将来の姿>

- ・観光客にとって「まんが王国とっとり」は、まんがを活用したイベントがたくさん催され、まんがゆかりのスポットがにぎわい、江戸時代のお伊勢参りのように、一度は訪れたい旅の目的地になっている。
- ・国際漫画祭の開催されるフランスのアングレーム市のように、日本では、まんがといえば鳥取県であることを世界中の誰もが認知している。

#### <まんがの持つパワー>

水木しげる先生、谷口ジロー先生、青山剛昌先生などの著名な漫画家の作品を活用した取組の素地に加え、次のようなまんがの持つパワーをいろいろな分野に活用する。

- ・まんが自体の面白さ
- ・マンガ表現(まんが独特の表現手法)
- ・まんがの多方面での可能性

#### <アプローチとアイデア>

「文化振興・観光誘客」「人間形成・産業育成」の2つの側面からアプローチする。それぞれについて、アイデアを整理する。

### 3 国づくりへのアイデア

#### (1) 文化振興・観光誘客

- 他に先駆けて、マンガ文化を集積・発信するとともに、将来に伝承する。
- まんがを一層活用し、オンリーワンの観光地として、魅力向上を図る。

#### ア マンガ原稿アーカイブの整備

- ・北東アジアゲートウェイ構想を掲げ、大交流時代を先導する鳥取県として、世界的に価値のある日本のマンガ文化の保護・振興に貢献することのできる有力な選択肢。

#### イ “まんがの聖地”化による観光誘客

- ・水木しげるロード等、市町村・民間の開発したゆかりの地ならではのおもてなしメニューを応援する。
- ・地元で誕生し、実績を積み重ねてきたイベントを応援し、それぞれの分野における日本一をめざして、新たな“まんがの聖地”づくりに皆で力をあわせて取り組む。
- ・「国際マンガサミット」等で人脈を築いた漫画家等の皆さんの協力を得て、絶えず新しい魅力を創出し続ける。
- ・聖地化に取り組む地域、まんが関連施設による広域的な連携を促進し、観光魅力を組み合わせる楽しさを増幅させ、まんがを目的とする観光客の増加を図る。



### ウ 海外インバウンドの促進

- ・鳥取県ゆかりのマンガを活用して、外国人観光客を呼び込む。
- ・サブカルゲートウェイをめざす。（環日本海地域・東南アジアから世界制覇へ）

### エ「国際マンガコンテスト」の開催

- ・国際マンガコンテストを引き続き開催し、海外を含む世界のマンガ文化の発展に貢献する。

### オ クールジャパン・クールトットリの情報発信

- ・マンガ表現による広報宣伝を推進する。
- ・鳥取県の観光スポット、特産品、グルメ等を採りあげた作品によって、情報発信を実施する。
- ・クールジャパンのなかでもクールな鳥取県として認知されるように海外へも積極的に情報発信する。

## (2) 人間形成・産業育成

- まんがの持つパワーを活用して、心ゆたかにコミュニケーションできる人間・人材を育成する。
- クールジャパンとして世界的に認知され、今後さらなる成長が見込まれるまんが関連産業を育成・振興する。

### ア まんが王国とっとりトキワ荘（仮称）

- ・県内外の漫画家等（の卵）が横につながりあえる機会をつくり、そこに集い切磋琢磨して研鑽を積むことができる環境をつくる。
- ・企業団体等に対し、漫画家等を新たに雇用するよう働き掛ける。
- ・著名な漫画家のかたを招いてワークショップを開催する。
- ・鳥取県ゆかりの漫画家等（の卵）が単独または共同で創作した優れた作品の出版を支援する。

### イ まんがの地産地消・地産他消の促進

- ・【地産地消】  
鳥取県、県内市町村、民間等のマンガ表現（まんが独特の表現手法）を使った情報発信の需要を掘り起こし、「鳥取県版トキワ荘（仮称）」の漫画家等とのビジネスマッチングを行う機会をつくる。
- ・【地産他消】  
アルファビル、まんが王国とっとり秋葉原倶楽部の運営を支援し、県外や海外への市場開拓を図る。

### ウ 教育現場におけるまんがの活用

- ・児童・生徒が楽しみながら学び、理解が促進され、また、表現能力やコミュニケーション能力を向上させるようにするため、学習プログラムやテキスト等にまんがによる表現を採り入れる。
- ・授業は出前講座として位置づけ、地元で活動している漫画家等が出講する。

## 4 アイデアの実現のために

- 県民がふるさと鳥取県を「まんが王国とっとり」だと自慢できるようになり、そのような「まんが王国とっとり」国民の増加によって、国づくりの取組を増幅させていく。
- 県民、行政（鳥取県及び県内市町村）、民間、漫画家等が共通の目的意識を持って、まんがで活力ある国づくりを推進する。
- 柔らかな頭で突飛な提案でもどんどん採り入れていく姿勢で熱意を持ってとことん取り組む。
- 毎日のように県内各地にまんが関連の情報があふれ、常に世界へ情報発信している「まんが王国とっとり」をめざす。

## 「漫画家 藤原芳秀 原画展」の開催について

平成26年4月21日  
まんが王国官房

鳥取県では、鳥取の隠れた歴史上の逸材を発掘して新たな観光資源を掘り起こす取組を進めており、このたび鳥取県出身漫画家の藤原芳秀先生による書き下ろし特別読み切り作品「河田佐久馬～倉吉淀屋と因幡二十士～」が、リイド社出版雑誌「コミック乱TWINs」4月号（3月13日発売）に掲載されたところです。

これを記念して「漫画家 藤原芳秀 原画展」を以下のとおり開催しています。

- 1 名称 漫画家 藤原芳秀 原画展
- 2 日時 4月16日（水）～5月11日（日）
- 3 場所 倉吉淀屋（倉吉市東岩倉町）
- 4 内容 今回掲載された原画の実物および関連資料を一堂に展示予定
- 5 作品のあらすじ

鳥取県倉吉にゆかりの深い伝説の豪商「淀屋」と尊王攘夷の志を掲げた因幡二十士を率いて幕末の日本を駆け抜けた鳥取藩士「河田佐久馬」の物語

- ・幕末、河田佐久馬率いる因幡二十士により、鳥取藩重臣が襲撃されたいわゆる「本圀寺事件」が起こる。
- ・因幡二十士は幽閉されたのち、脱藩し長州藩と合流し、倒幕へと突き進むこととなる。
- ・河田佐久馬は明治維新後、鳥取県初代権令（現在の県知事にあたる）に就任するなど政治家として活躍した。
- ・一方、江戸時代の伝説的な豪商「淀屋」は、そのあまりの財力と権力を恐れる幕府により、1705年關所（財産没収）処分となった。諸大名への貸し付けを含めるとその額100兆円にものぼるといふ。
- ・この淀屋から密かに暖簾分けをした「倉吉淀屋」は鳥取で商いを続け、その後、大坂「淀屋」の再建を果たすこととなる。
- ・そして1859年、これらの「倉吉淀屋」及び再建された大坂「淀屋」は突如店をたたみ、財産を朝廷に献上し、倒幕運動へ身を投じ、そのわずか八年後、財産没収の悲運から、160年の永きにわたる復讐劇を果たし、徳川幕府はその幕をおろすこととなる。

## 6 漫画家 藤原芳秀

昭和41年生まれ 鳥取県八頭郡船岡町（現・八頭町）出身

1984年、高校在学中に小学館新人コミック大賞に入選

卒業後、池上遼一のアシスタントを経て1986年に「私立終点高校」でデビュー

代表作は「拳児」、「ジーザス」、「闇のイージス」等

## 青山剛昌キャラクター コナン×キッド×ヤイバ「神話の国の秘宝伝」について

平成26年4月21日  
まんが王国官房

名探偵コナン週刊少年サンデー連載20周年を記念して、名探偵コナンをはじめ、まじっく快斗、Y A I B Aに登場する青山剛昌先生のキャラクターを活用した鳥取県全域の集客促進、周遊を目的としたリアル宝探しゲームを以下のとおり実施します。

### 1 内容

- (1) 実施時期 平成26年7月19日(土)～ 9月23日(火・祝)
- (2) 実施場所 鳥取県内全域対象。
- (3) 対象 名探偵コナンファン、ファミリー層
- (4) 参加費 無料
- (5) イベントの流れ
  - 参加者は参加キット(宝の地図)を入手し、書かれた謎を解読しながら、「宝物」を探索。宝箱発見者には発見した宝箱数に応じてオリジナルグッズを抽選の上、配布する。
  - 宝箱は、県内東部・中部・西部の3エリアの各2箇所ずつ宝箱を設置し、参加者は宝の地図に書かれた謎を解読しながら、宝箱を探索。
  - 各エリアには宝箱設置ポイント周辺に謎解きのヒントを掲示するヒント提供展を設け、参加者の街歩きを促す。
  - 目的地と目的を直線的に移動するスタンプラリーに比べ、謎解きをしながら観光地を探索するため、回遊性・滞在時間の向上が期待できる。
  - 景品はオリジナルコナングッズを準備の予定。

### 2 その他

「名探偵コナンまつり」について、以下のとおり開催します。

日程 平成26年8月23日(土)

場所 倉吉未来中心



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成 26 年 4 月 21 日

ス ポ ー ツ 課

工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
県営米子屋内プール (プール棟)耐震改修 工事(建築)	米子市皆生 温泉三丁目	松本組・竹田工務店 特定建設工事共同企 業体	388,800,000 円 (予定価格) 406,639,440 円	平成 26 年 3 月 20 日 ~ 平成 26 年 11 月 30 日	平成 26 年 3 月 19 日	総合評価 制限付一般 競争入札 (1 者)